

に、今年度から講座を開設して養成していきます。活用にあたっては、地域の食生活改善推進員や健康運動普及員、民生児童委員の方々と組織的に活動ができるよう考えています。

質問 水沢病院の医師を除く職員給与の一律5%カットはいつまで続けるかについて伺います。

答弁 改革プランにのっとって、平成21年度を初年度として、5年間続けていくという時限的な処置であります。毎年度労働組合との交渉が前提となります。

質問 市の奨学金制度を活用している医学生は、いつごろから奥州市に来ていただけるかについて伺います。

答弁 奥州市立の病院に勤務することを条件として、現在9名います。実際医療の現場に入ってくるのは3年から4年後になると思います。

質問 49億3200万円の未処理欠損金を抱える水沢病院については、経費の削減だけでは限界があると思われませんが、抜本的な解決策について伺います。

答弁 医師確保を重点課題として、それ以外でも収益を出していく努力をしているところです。とにかく改革プランに沿った結果

を毎年出していくことが大切であると考えます。

質問 介護保険施設については、入所待機者が年々増加し計画が追いつかない状況にあります。さらに踏み込んだ施設整備が必要と思われるのですがどのように考えているか伺います。

答弁 一定の負担をしていたかないと整備ができないという現実もあります。どのような方向が市民にとってよいのか、計画を示しながら実態に即した整備ができるよう検討してまいります。

質問 平成21年度予算審議時に私立幼稚園の障がい児保育や預かり保育に対する、補助員の配置や人件費の補助を検討する旨答弁がありました。どうなっているか伺います。

答弁 国の就園奨励費の考え方が変わり保護者負担が増加したので私立幼稚園協議会からの要請もあり、園に対する運営費補助を厚くするよう検討しています。

質問 コミュニティスクールの奥州市における現状と今後のあり方がどうなっているか伺います。

答弁 8校を指定し、地域との連携による特色ある学校づくりを推進しています。今後も地域ぐるみで子どもたちを育てる方途を考え

てまいります。

質問 就学援助の申請と認定の状況はどうなっているか伺います。

答弁 平成21年度1017人が申請し、886人が認定されています。再申請して認定されたのは17人です。

質問 公会計となりました給食費の未納の状況について伺います。

答弁 平成21年度収納率は98・67%、平成20年度とほぼ同じとなっています。平成20年度の未納額のうち43・75%が平成21年度に収納されました。

質問 昨年の答弁で衣川の図書館について具体的に検討するということがどうなっているか伺います。

答弁 平成22年度にセミナーハウスを図書館にするよう設計委託をします。住民の意見をもらいながら進めてまいります。

質問 現在、精神疾患で休職している先生は何人いるか伺います。

答弁 平成21年度は9人が精神疾患で休職しました。平成22年度は3人が復帰しましたが、新たに2人が精神疾患と診断されています。

産業経済部門

質問 米の前渡金が9000円を割る状況が出てきましたが、未だ

農協には平成21年産米の在庫が多くありますが、販路拡大に市東京事務所を活用できないか伺います。

答弁 JAの請願に沿い、要望書を地元国会議員事務所に提出しました。市としても米の問題は最重要課題であり、東京事務所については現在そのような活用をしていませんが、個々具体の動きについてどのようにすればいいか、できるだけ早く対応できるように考えてまいります。

質問 奥州市には多くの祭りがありますが、たとえば『ヨサコイ』等で市の売込みをどのようにしているか、また、平泉の世界遺産登録に関連して具体的に何か考えているか伺います。

答弁 平泉に関連しては、10月に観光物産協会が統合するので、全市一体の取り組みを検討していくこととしています。祭り等イベント時の売り込みは、情報発信からと考えているので、キャラバン、チラシ等に併せ主催側の意気込みも、観客に通ずるものがあるのでマンネリ化しないように取り組んでまいります。

質問 米価が大幅に下がって来ます。集落営農の経営実態はどうなっているか伺います。

答弁 まだ把握していません。